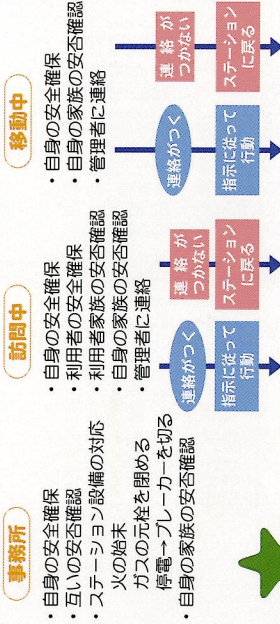


災害発生時フローチャート

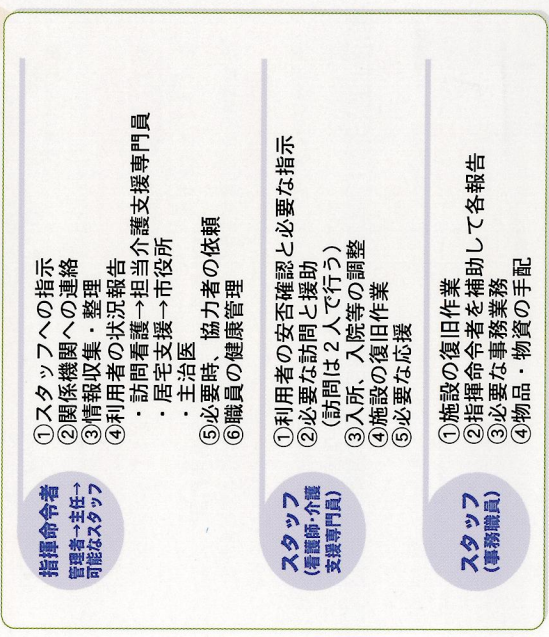
① 災害発生24時間以内(営業時間内)



② 災害発生24時間以内(営業時間外・休日)



③ 災害発生24時間以後の営業時間



※各スタッフの被災状況や家族状況に配慮する

次のようなシートをステーションに貼り、日頃から読み合わせましょう。

— 観測情報・注意情報が出された時 —

- ・ 出口、避難経路を再確認し、障害物を取り除く
- ・ 非常持ち出し品を確認
- ・ 不安を取り除くように声をかける
- ・ 正しい情報を確認

災害用伝言ダイヤル（1771）の利用方法

「災害用伝言ダイヤル」は、大規模な災害が起きた時、被災地の人たちとメッセージのやりとりができる「声の伝言板」です。
 一般電話、公衆電話、携帯電話、PHSなどから「1771」をダイヤルし、その後に流れる案内に従って利用してください。
 なお、メッセージの録音・再生は、被災地の人たちの自宅の電話番号を呼んで行います。

伝言を録音する時

- ① 「1771」をダイヤル
- ② 「1」をダイヤル
- ③ 被災者の自宅の電話番号を
市外局番からダイヤル
- ④ 30秒以内でメッセージを録音

伝言を再生する時

- ① 「1771」をダイヤル
- ② 「2」をダイヤル
- ③ 被災者の自宅の電話番号を
市外局番からダイヤル
- ④ 相手で残したメッセージが流される

地震発生時の行動

3秒	1～2分	3分	5分	5～10分	10分～数時間
地震だ！ 落ち着け！ 身を守れ！ 火を消せ！ 出口を開け！	揺れが止まった 後、山や崖の崩落 が予想される場合は すぐ避難！ 火元を確認！ 利用者は 大丈夫か？ 靴を履く 非常持ち出し品	利用者は 無事か？ 近くに火は？ 火元を確認！ 「消火器を使え！ ハヤッリバーン！」 余震に注意！	ラジオをつける！ 市町・自治体の情報 を確認！ 緊急連絡先！ 電話は 優先的にかけ る！ ラジオが壊れたら注意！	カバンを閉めろ！ フューカーを切れ！ 避難は自宅待機 行き先を 空欄に！	揺れ・異音が収まる 現象は消火警報・ 通報！ 隣町の手当ては 自力で！

災害発生時フローチャート・ 地震発生時の行動等

平成22年3月

訪問看護ステーション地域部会